

『兄と魯山人と忌野清志郎とトリビュートライブ』の関係

みなさん、GWはいかがお過ごしでしたでしょうか？
私は仕事で毎日、岡崎と渥美半島の往復の日々を過ごしております！

しかし、あの高速道路料金1000円均一政策はすごい反響ですね！！私のような休み中に仕事をしている人たちにとっては渋滞が増えて困りものですが、車で旅行するのが好きな人にとっては、渋滞で車の中で一夜を過ごすのもまた後で人生を振り返ったときには、良き思い出になるのではないのでしょうか？

もし今度、時間があつたら是非、岡山県笠岡市という田舎町に寄ってみてください！！実は兄が料理屋をやっております。私の兄は、私とはまったく違って、お茶、お花、陶芸、骨董好きの『わび さび』の世界に住んでおり、縁あって伝説の料理人、魯山人の一番弟子だった松浦沖太さんという方に師事したことで、今では魯山人料理に人生をささげ、漫画にもなってるんです！山陽自動車道の笠岡インターを降りて5分くらいのところで『別館茶寮 お多津』という店をやっております。

頑固に一人でコツコツやっているの、予約制となっておりますので、私に事前に連絡してもらえれば、魯山人料理を用意して待っていただいております。(当然、テイクアウト価格です！)家族でゆっくり泊まりたいなあと思ったら、従兄弟が割烹旅館を市内で経営しておりますので、そちらにお泊まりください(これも身内価格で！と伝えておきます！！)

私はボルトやベアリングのことはよく知ってますが、料理に関しては全くの素人です。しかし料理も機械修理と同じで、突き詰めていくと『ころ』に行きついてしまうのかなあと思います。

相手を思う心が料理に、味に、器に、床の間の掛け軸に、お花に、庭に、至る所に現れる。相手を思う心が作業に、指示に、安全確認に、道具の運搬に、後片付けに、現れる。どんな分野でもおなじなのでしょう。根っこは必ず心に通じています。テイクアウトの理念『**ころある道を歩む**』もそこを表現しています。

先日、ロック界のカリスマが永眠しました。RCサクセションの忌野清志郎さんです。この方も派手派手しい外見とは裏腹の『**ころの人**』だったと思います。10年ぐらい前、名古屋のクラブアトロに、まだ新人だった、つじあやのを引き連れて、まるでポリビアの民芸品のような恰好で登場した時は会場は大爆笑でした！実は岡崎の小さなライブハウスにも来たことがあって、その時は『めっちゃイケ』にも出ている武田真治をサクスプレイヤーとして引き連れてきていて、『僕の自転車の後ろに乗りなよ 坂を下って 国立に行こうよ♪』という軟弱な(笑)歌をキングクリムゾン(わかる人だけわかってください！！笑)のような幻想的なアレンジで演奏してくれて、会場を興奮の渦に巻き込んでくれました！

自分はビートたけしさんやサザンの桑田さんや清志郎さんのようなかぶり物を好む人が好きな傾向にあるのですが(笑)、多分、かぶってないと素の自分が出せないくらいピュアな魂をした人が好きなのだと思います。清志郎さんも普段はとて大人しく、普通の人で、どこにいても気づかないような雰囲気を持っていて、しかし一旦ステージに上がると**KING OF ROCK!**な圧倒的な存在感を発揮し、なおかつ若いミュージシャンを育てるのが楽しくて仕方ないという雰囲気がライブから常にあふれていました。

これから多分、トリビュートアルバムやトリビュートコンサートといった追悼イベントが各地で催されると思われませんが、本当に清志郎さんのことが好きで、尊敬していて、感謝していて、悔しくて、割りきれなくて、どうしようもないという思いのミュージシャンだけ参加してほしいと思います。

なぜなら、『金持ちが天国に入るよりもラクダが針の穴を通るほうがやさしい』のことわざではないですが、ファンというものは**ラクダが針の穴を通るよりも厳しい目**で一人一人のトリビュートしているミュージシャンの心からの演奏を望んでいるからです。

世界最大のトリビュートライブは1992年に行われたロック界のモーツァルト、クイーンのフレディー・マーキュリーのためのものでした。10万人を超える観客が集まり、イギリスのロックスターが総出演する伝説のライブとなりました。DVDが発売されていますので、ロック好きの方はぜひ見てみてください。中でもユーリズミックスのアニー・レノックスと元ワムのジョージ・マイケルは必見です！！全身全霊で鎮魂しています。本当にフレディーのことが好きだったんだなあというのが伝わってきます。

針の穴を通ることができる『ころの人』かどうか、トリビュートライブには思わず出てしまうのです。

『清志郎の冥福を、、俺は祈らない！！バカヤロー！！』といった泉谷しげるさんに是非トップバッターで名曲『スローバード』を歌ってほしいです！！絶対見に行きます！！みんなで大合唱になったら、多分、涙止まらないと思います。黙禱！ 羽原篤史



篤史